

魔花女。



お前の兄は  
悪魔にも  
人間にも  
成れない  
孤独な生き物だ

こんにちは  
おこじよと申します

本をお手に取っていただき  
誠にありがとうございます

この本は成人向けの内容となつています  
性的な描写がありますのでご注意ください  
捏造設定など含まれてます

前作の「僕らのいどころ」の続きとなつて  
いますので、なるべくならそちらを  
読んだ後こちらを読んで下さると  
嬉しいですよ。

前回のあらすじ

何としても  
守り抜くと

杜山しえみの母の使いで奥村雪男は  
リュウ・セイリュウの所に訪れる。  
そこでリュウから昔友だった悪魔を  
自らの手で祓ったことを聞かされる。  
雪男は悪魔と人間の不条理な関係に  
サタンと人間の混血である兄奥村燐の問題と重ね合わせ  
悪魔との対峙に苛立ちや不満、  
割り切れない気持ちを感じた。  
最後にリュウが「興味があるならまた来い、  
いつでも歓迎するぞ」と言つて雪男を誘った。  
リュウと雪男の距離が近づいたようだった。

そう決めたんです

兄弟の  
運命に縛られて  
足掻いてるその目は

この瞳は  
どこか  
もどかしい

とでも  
騎士道は  
どこか  
偉い  
感じ  
が  
する

立派な  
被魔師に  
なれよ



まあ  
可愛らしい



賢そうな  
お顔をして  
らっしゃる



将来が  
楽しみですな



成龍

はい

父上

何度言え  
ば  
わかるんだ!

この馬鹿者が!

動きが全然  
なっとらん!















成龍よ

悪魔を  
祓うのが  
祓魔師の  
仕事だ

しかし  
悪魔は狡猾だ  
心の隙間を  
狙って人を  
混沌へと誘う

そんな  
悪魔の誘惑に  
惑わされぬ  
ためには  
強靱な精神を  
養わねばならん

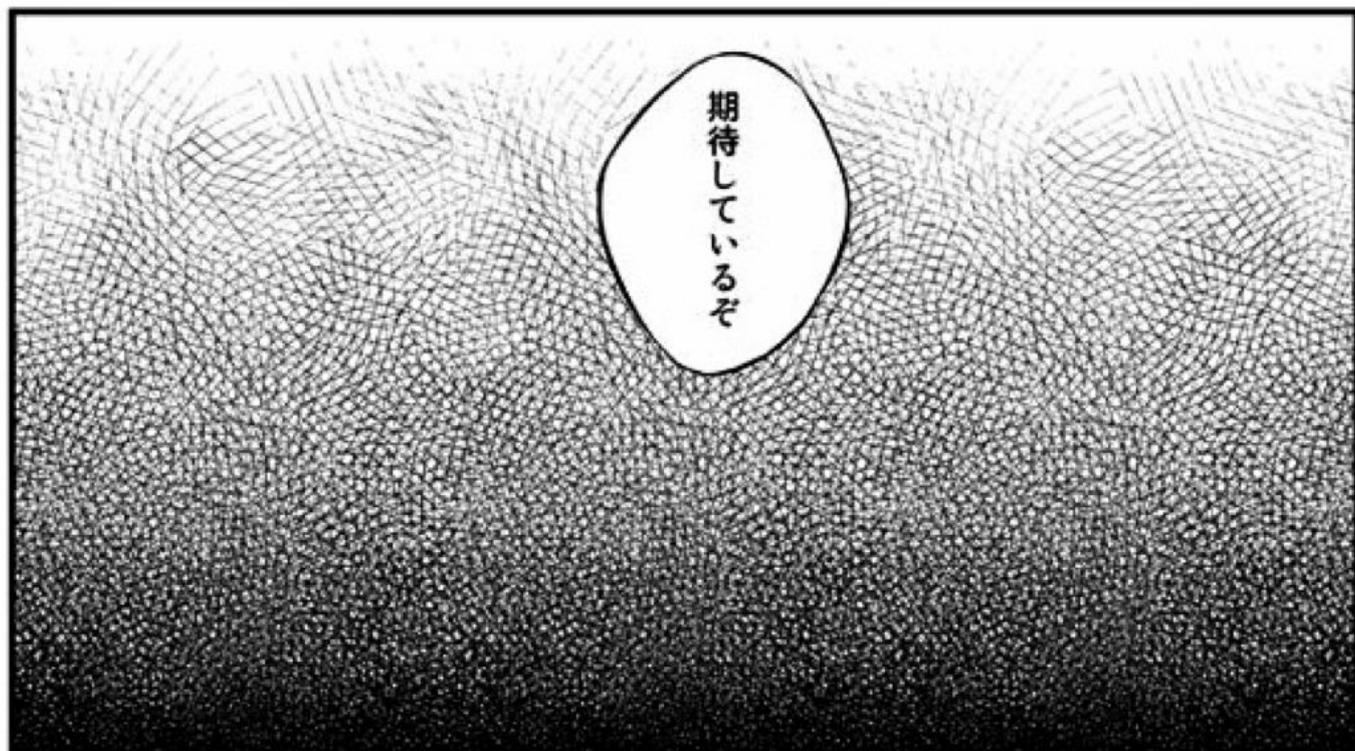


はい

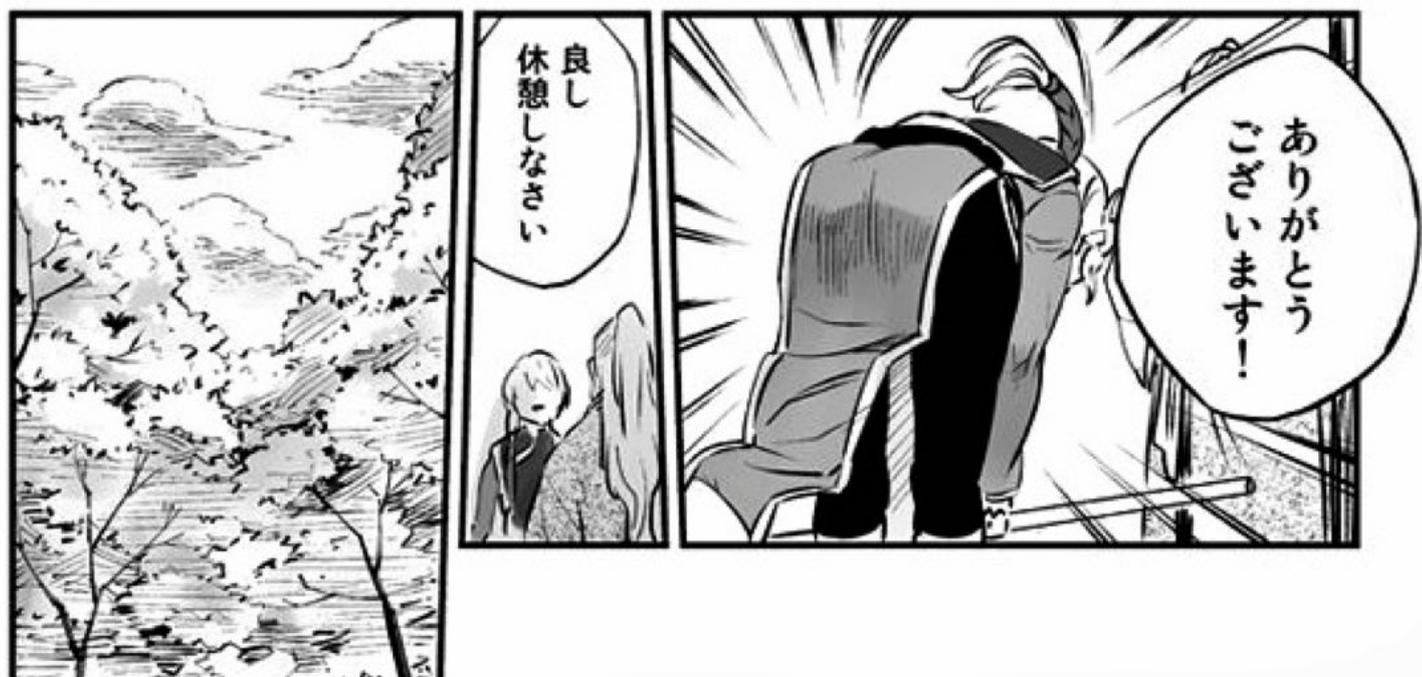
わかるな？

うむ

お前は  
劉家の男だ  
過酷な修行を  
乗り越えて  
立派な祓魔師に  
なるだろう



期待しているぞ







そうだ  
御礼に  
美味しいもの  
あげるよ!



なんで?

え?



なんで  
弾かれるの?

なんで  
敷地に  
入れなの?



何事だ！  
結界に反応が  
あったぞ！

成龍様  
それは…

そやつが手に  
しているモノは  
悪魔じゃ



おお  
なんと情けない



劉家の男が

長!!!



成龍よ  
そやつは  
悪魔だ

お前は  
悪魔に憑り  
つかれておる

被魔師として  
あつては  
ならないことだ  
自分の過ちは  
自分で始末しなさい

こいつは  
トモダチ……  
なんです……

そそんな  
でもこいつは……!

笑わせるな!!!

悪魔と友に  
などなれん!!!

でもでも……!

成龍よ  
昔話をしよう……





そんな  
お前は  
俺のこと  
騙してたの？

に  
ち  
よ

傷を癒し  
てくれた

アハ

一緒に遊んだ

全部嘘だっ  
たって！  
いうのか!?

被魔師を  
目指してる俺が  
悪魔と仲良く  
してたなんて

恥ずかしい！

悔しい！

みつともない！

畜生！

畜生！

クソ！

クソ！

許さない！

許せない！





成龍よ  
 良くやった  
 それでこそ  
 劉家の男よ…



うむ



セツカク  
 トモダチニ  
 ナレタト  
 オモッタリニ

!!



はあっ  
 はあっ

はあっ  
 はあっ



セイリユウ  
 ドウシテ?

イタイ  
 イタイヨ

セイリユウ  
 どうシテ?

イタイ  
 イタイ

イタイ  
 イタイ

イタイ  
 イタイ



セイリユウ…















※しえみの母から鍵を借りて台湾に移動してる

雪ちゃんが一  
緒に来て  
くれると  
安心するよ

いえ  
突然僕も同行  
するだなんて  
押しつけ  
がましかった  
かなって

ううん  
此処に来るの  
初めてだから  
雪ちゃんが  
居ると  
心強いよ！  
ありがとう

お待ちして  
おりました

此方へ  
どうぞ

つい  
しえみさんを  
出しに使うで  
しまった

ドキ

ドキ...

品の用意が  
出来るまで  
暫くここで  
お待ちください

はい！  
あの！  
突然来て  
すみません

いいん  
ですよ  
祓魔用品店様とは  
長いお付き  
合いですから

言われた品なら  
すぐにご用意  
できますと  
思います

ハ  
タ







あれ？しえみさん  
知らなかった  
んですか？

ここ劉さんの  
御実家なんだよ

えー！

資源が豊富でな  
こここでしか  
手に入らない  
材料を素に  
被魔師の仕事と一緒に  
被魔用の薬も  
取り扱ってるんだ

ふええ  
知らなかった

そうだっ  
たんだ

もうお母さん  
ちゃんと  
教えてくれない  
から恥かいたよう  
もう

が  
あ  
あ

失礼します





雪ちゃん  
ちよっと  
行ってくるね



あ  
はい!

杜山様  
品の確認をして  
頂きたいので  
こちらへ来て  
いただけますか?



お前

野暮ったい  
だなんて…



はは

初めて  
見たときは  
野暮ったそうなんだ  
と思ったが  
良くみると  
なかなか  
可愛い  
じゃないか



そっそ  
そんなんじゃ  
ありませんよ!

なっ  
何言っ  
てるんですか!



アレと  
付き合っ  
てるのか?





もう  
なんなんだ  
この人は！

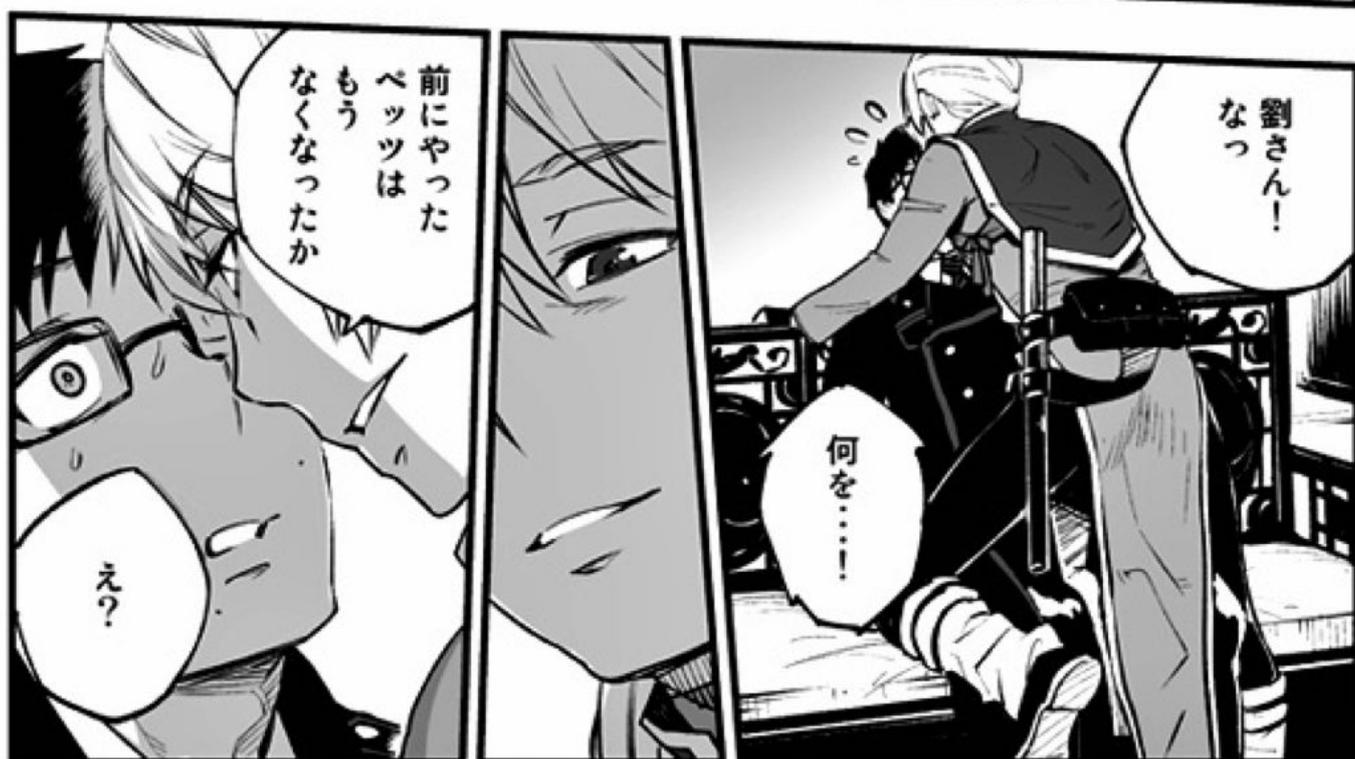
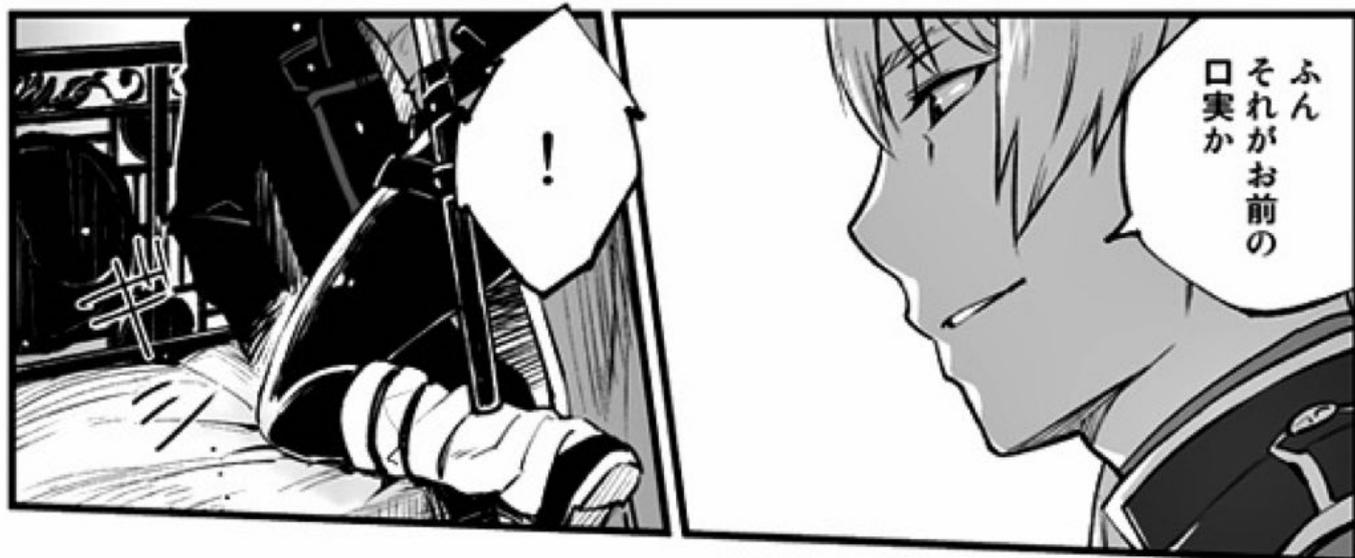


ーして  
どうして  
ここに来た？

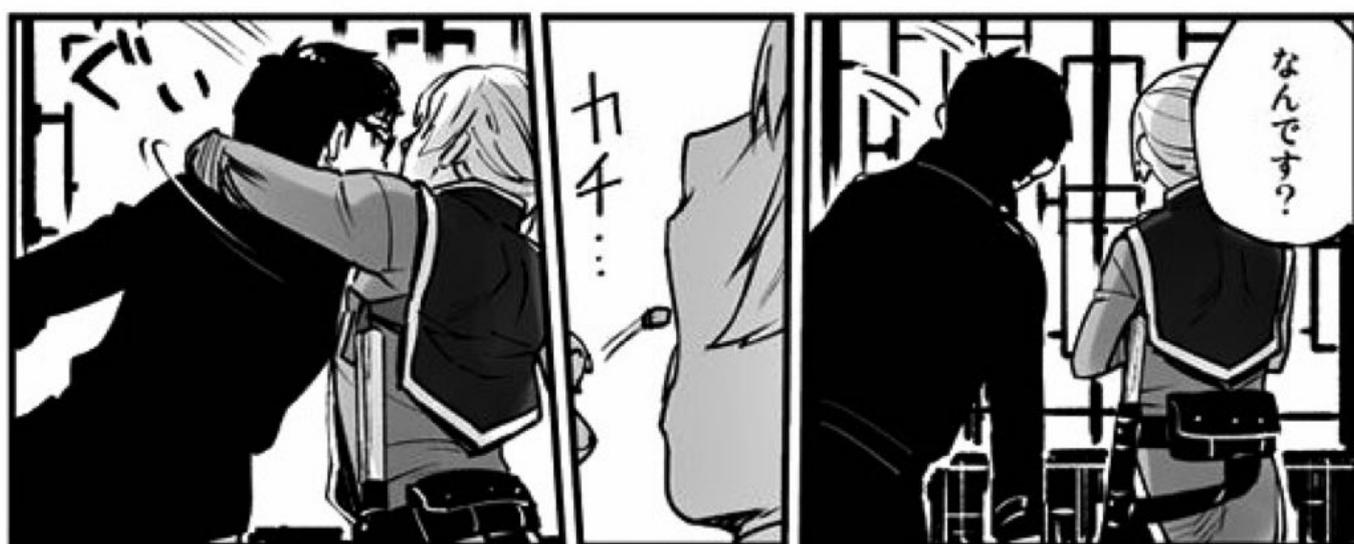


えっと  
その…

しえみさん  
一人だと  
心配だったので  
僕が：















あの  
雪ちゃん  
が…

成龍様と  
お話があるそうで  
先に帰宅  
なさるよう  
お伝えして  
くださいと  
伺っております

はあ…  
そう  
ですか…

お話ってなんだろう？  
でも こっちも  
急いでるし…

いいじゃなか  
久々の再会  
なんだから

もう少し  
楽しんでけよ

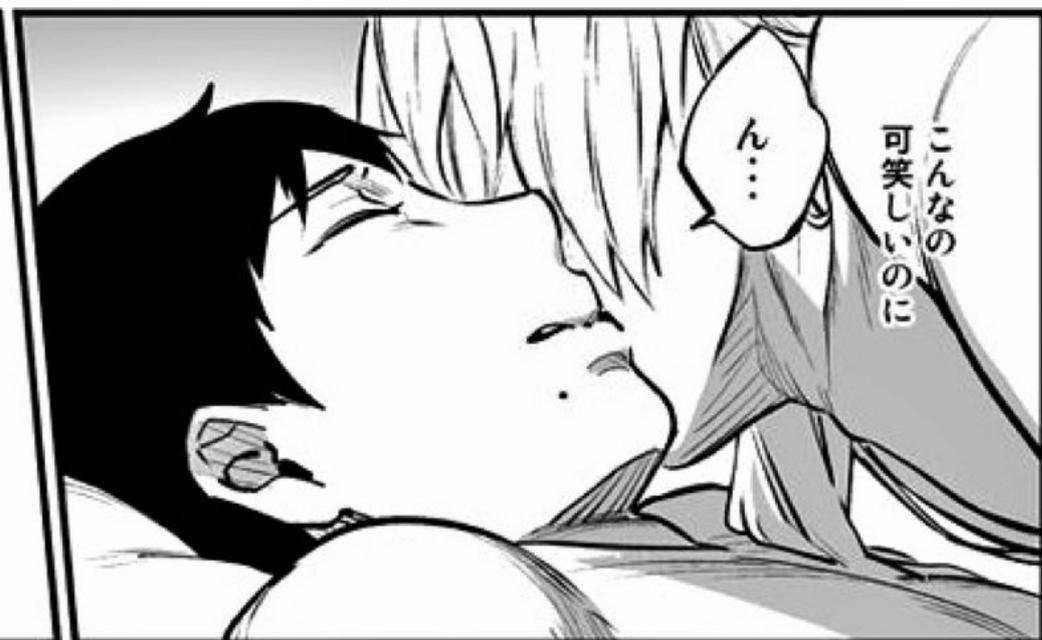


こんな事して  
いいと  
思ってる  
んですか？

お互い  
合意の上なら  
問題あるまい









チュウ

クチュ

ハッ

ハッ











そろそろ

いいだろ…







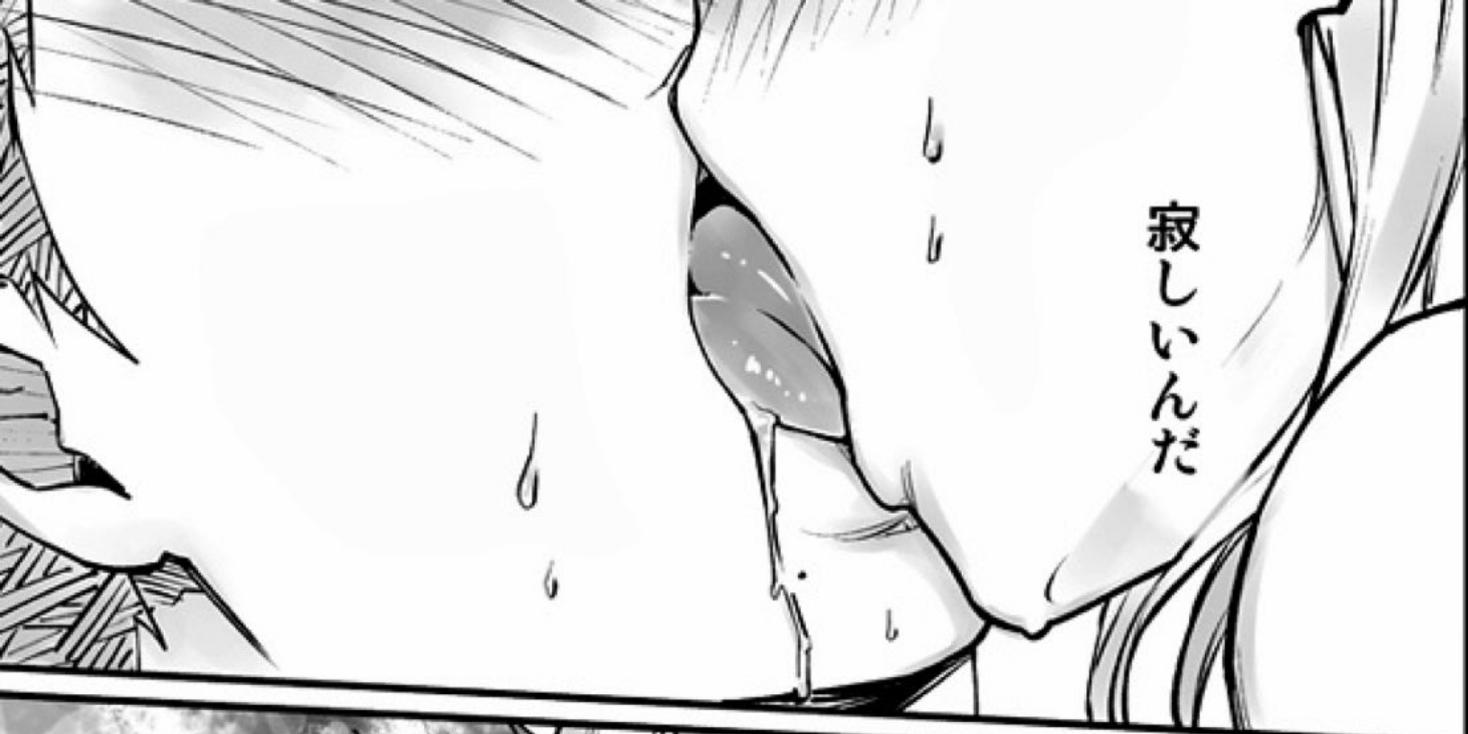




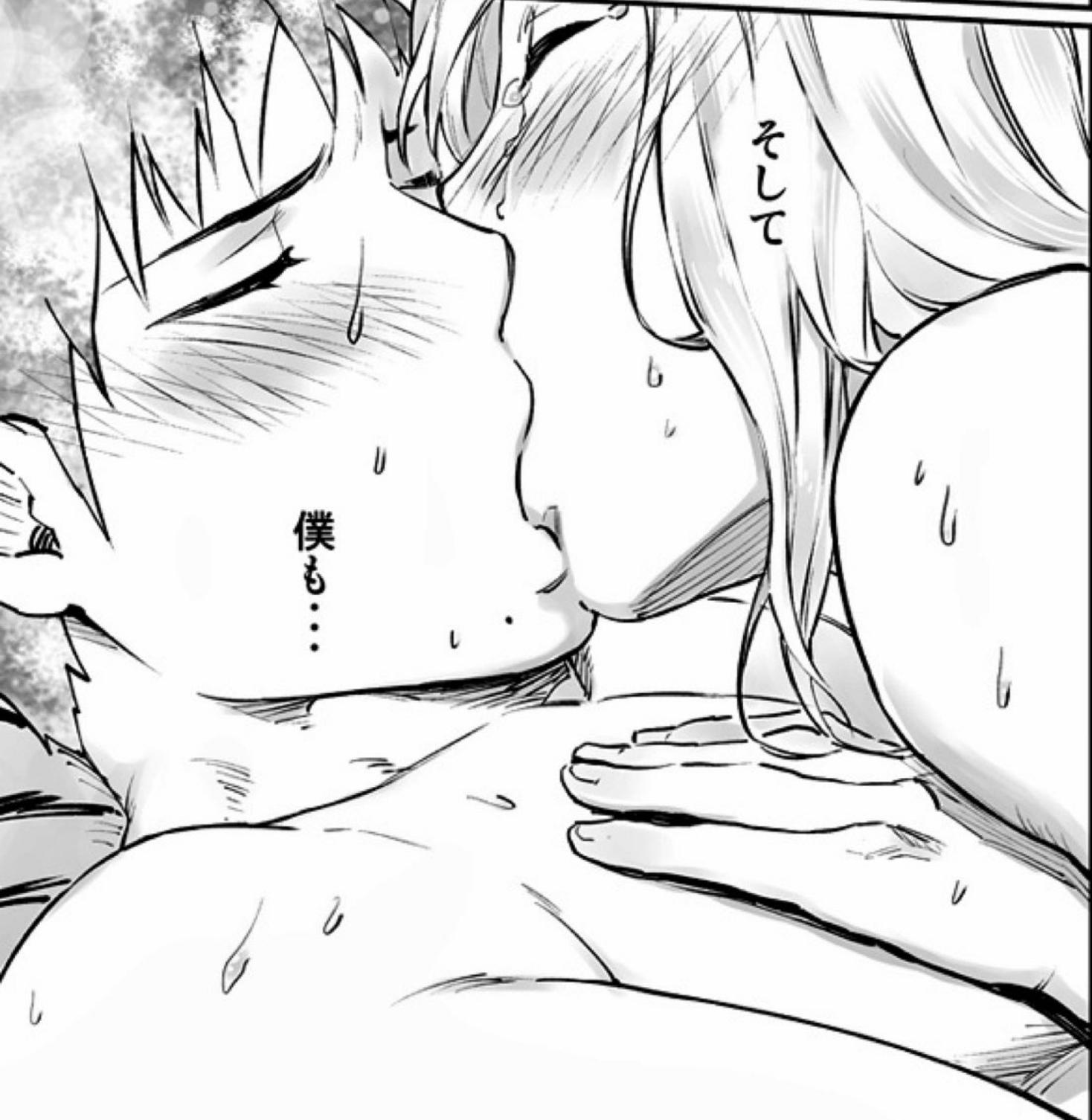








寂しいんだ



そして

僕も…



んんん

んんん

あ

あ

あ

あ

んんん

んんん

んんん





アッ

オッ

Q

Q

Q

Q

Q





ニム

まさか  
これで  
終わりじゃない  
ですよ



少し休ませ……!

バカ!

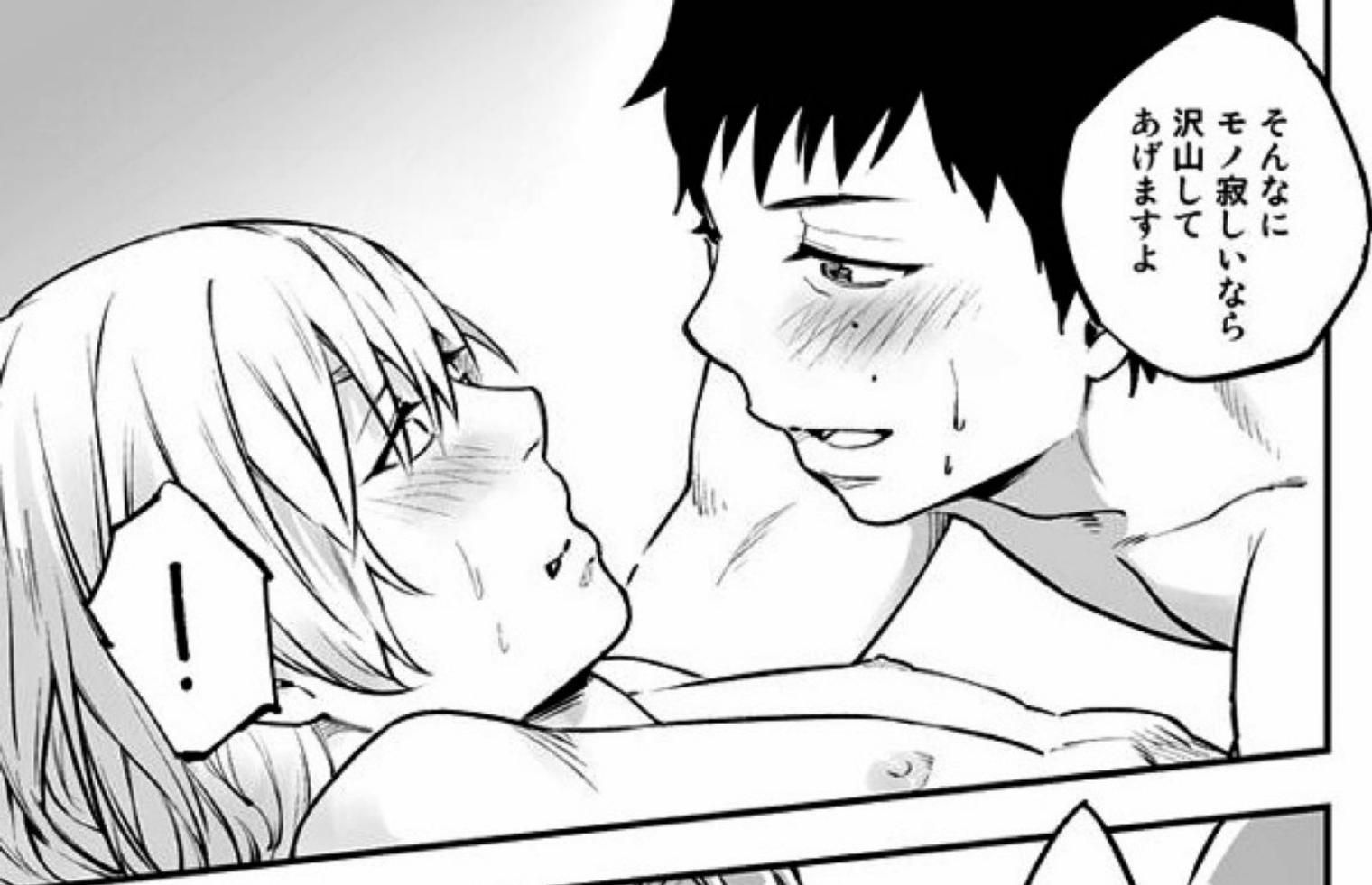


あああ

あああ

あゝあゝ

あゝあゝ



そんな  
モノ寂しいなら  
沢山して  
あげますよ



ッ



生意気な奴

年下の癖に









「沢山してあげますよ」  
って言ってたからな

お言葉に甘えてやってもらっただけだが



...



こうゆうこと好きな女性とするもんだと思ってきました



はは好きな奴じゃ無くてすまなかったな...



...



いいです  
たぶん叶わぬ  
想いだと  
思いますから...



勉強もできなくて  
不器用で  
だらしなくて  
いつも何か  
空回りしてるのに

肝心なところで  
人の心を掴む

そんな  
羨ましい人が  
いるんです



奥村燐の事か...



たぶんその人と  
結ばれると  
思いますから...



なんだ  
諦めるのが  
早いんだな

違います！

…なんていうか  
敵わないなって…



…



なんで  
僕はあんな風に  
カッコよく  
出来ないんだろう…





そいつは馬鹿で単純だから  
そういうゆう事が出来るんだらうな

常識人には到底無理な話した



まあな

?



お前は賢い奴だ

だからお前には馬鹿に成って欲しくないものだな



劉さん…

馬鹿って…



だが俺は馬鹿は面倒で嫌いだ



くっ

はははは





お前にやる



此処に通じる鍵だ



お前が良ければ  
また俺の相手を  
してくれないか？

...



俺はお前が  
気に入ったんだ



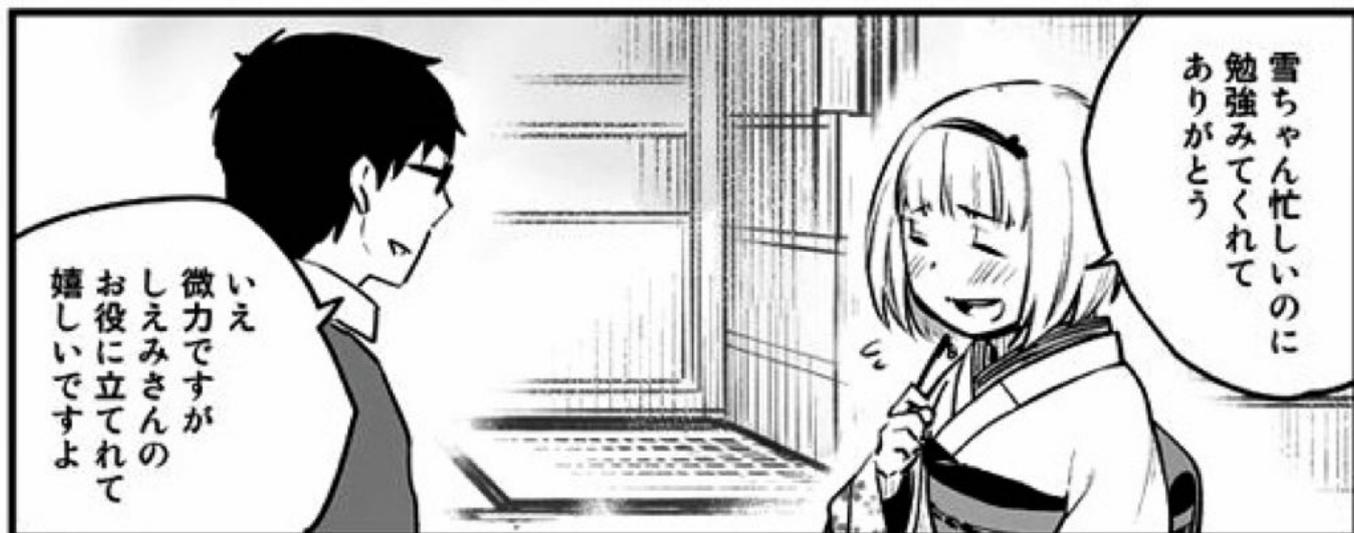
昔あった  
トモダチの事  
まだ許せ  
ないんですか？



劉さんは…









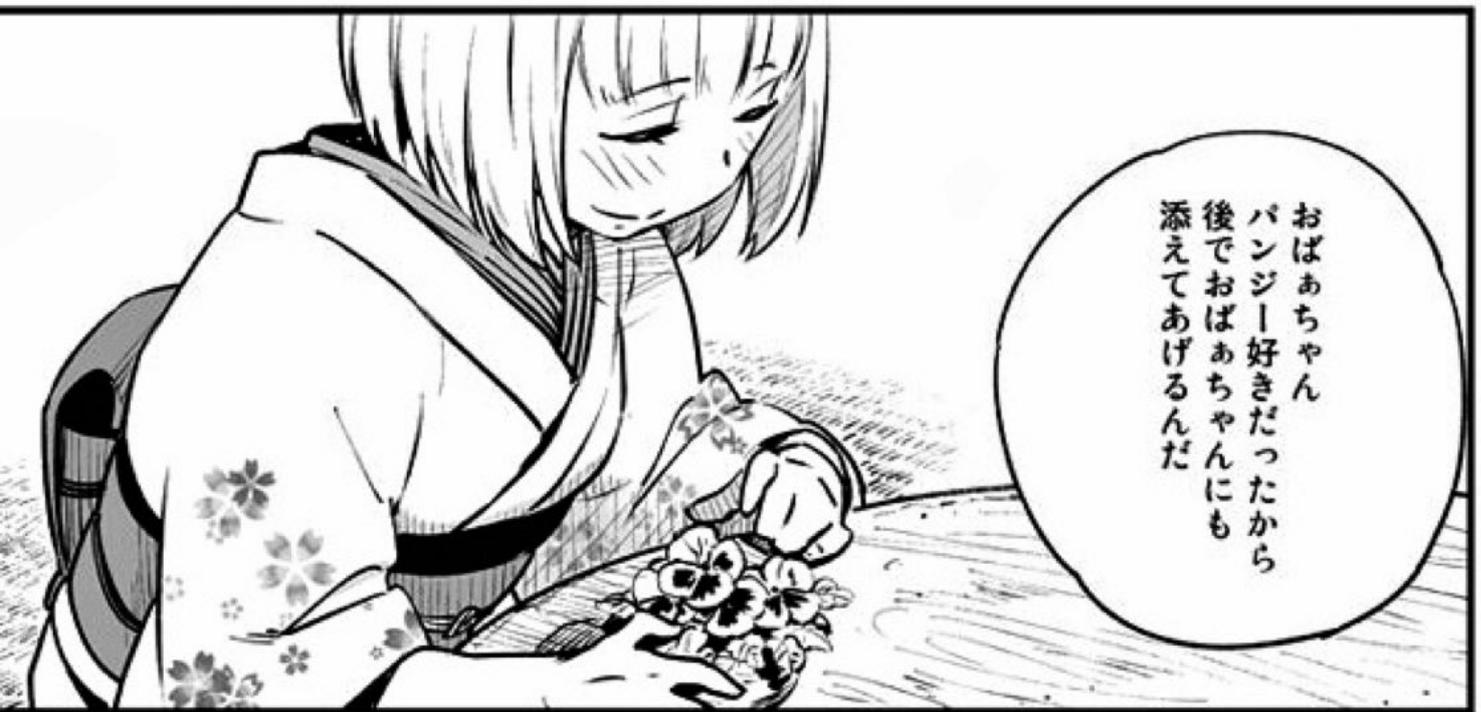
？  
どうしたの？  
雪ちゃん

え？  
いえ  
なんでも  
無いですよ



このお花  
きれいで  
すね

うんお庭に  
咲いたパンジー  
今年もちゃんと  
咲いてくれたの

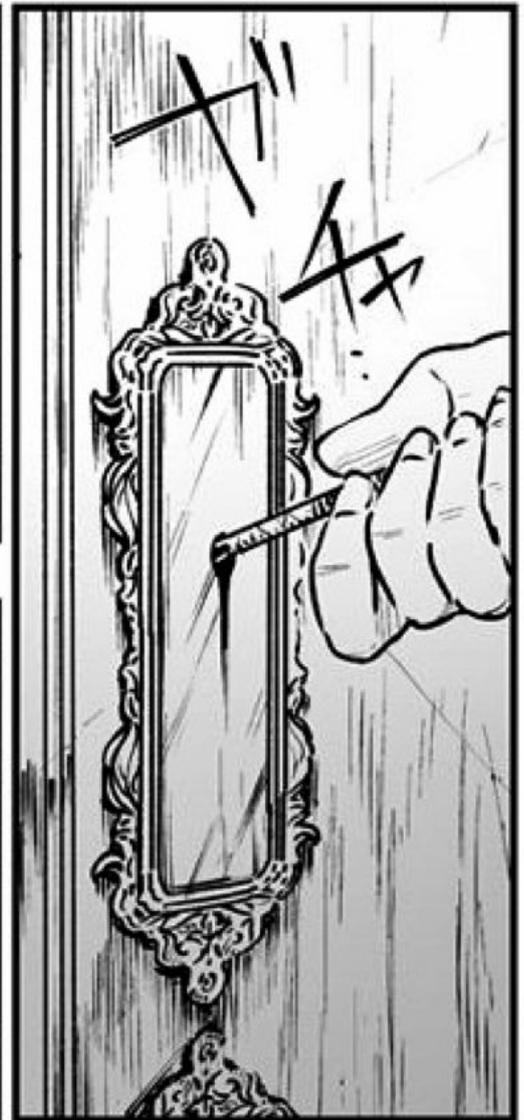


おばあちゃん  
パンジー好きだったから  
後でおばあちゃんにも  
添えてあげるんだ



...











昔兄と二人で  
傷を負った  
スズメを  
保護したことが  
あるんです



不慣れながらも  
兄と一緒に  
あの手この手と  
手当したんですが

残念ながら  
死んでしまっ  
たんです

僕は絶対  
助けられるって  
信じてた

でも死んでしまった  
凄く悲しかったし  
悔しかった

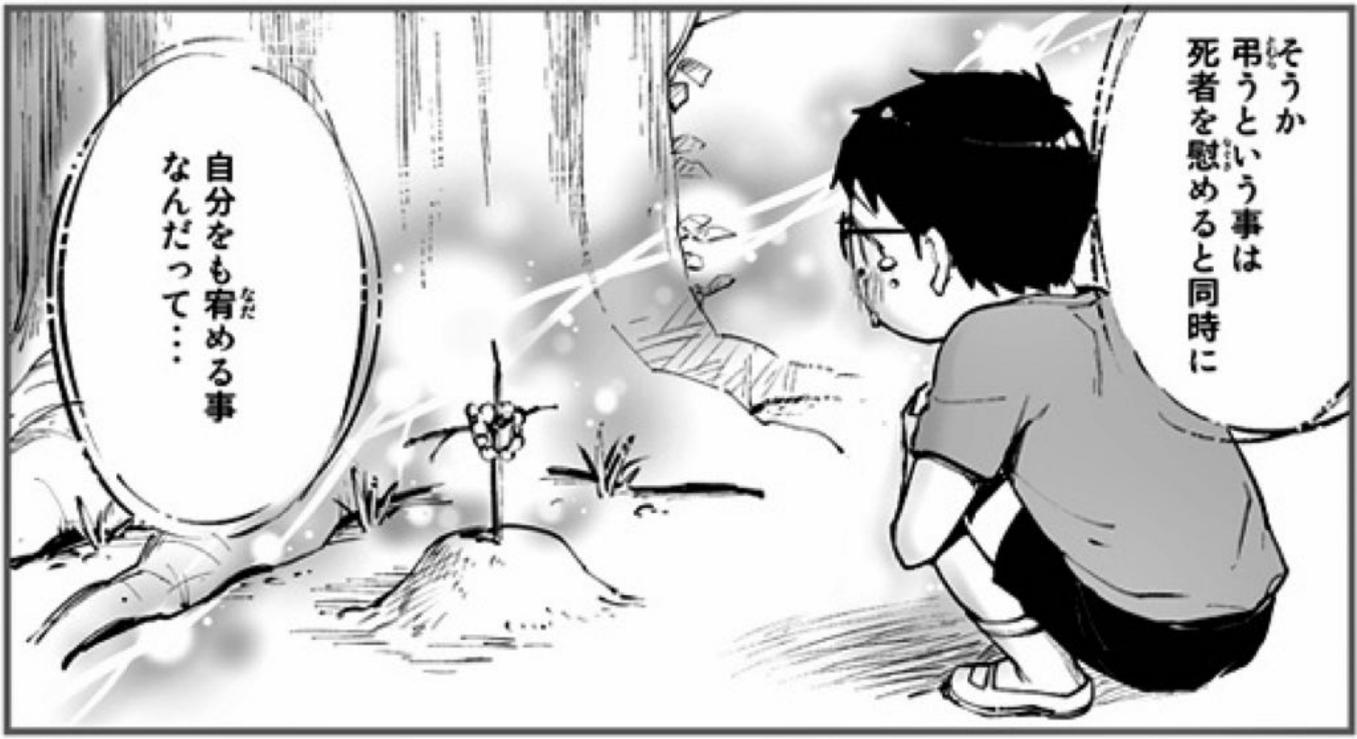
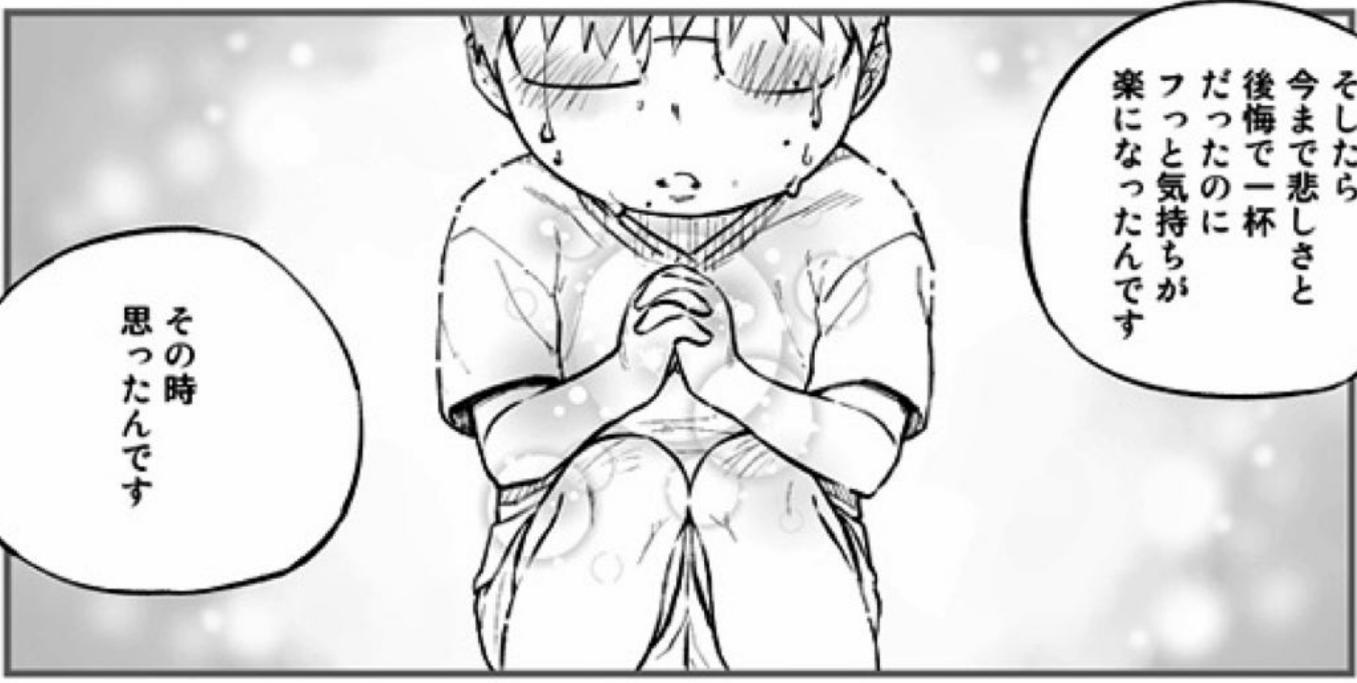
ワンワン  
泣きました



そしたら兄が

お墓作って  
あげようって







まあ兄はスズメが  
死んでしまったので  
単純にお墓を  
作ろうって  
言っただけ  
なんだと  
思いますけどね



昔から兄さんには  
変なところで  
助けられると  
いうか  
なんていうか



ふん  
アイツ  
らしいな...



純粹な人  
なんだと  
思います



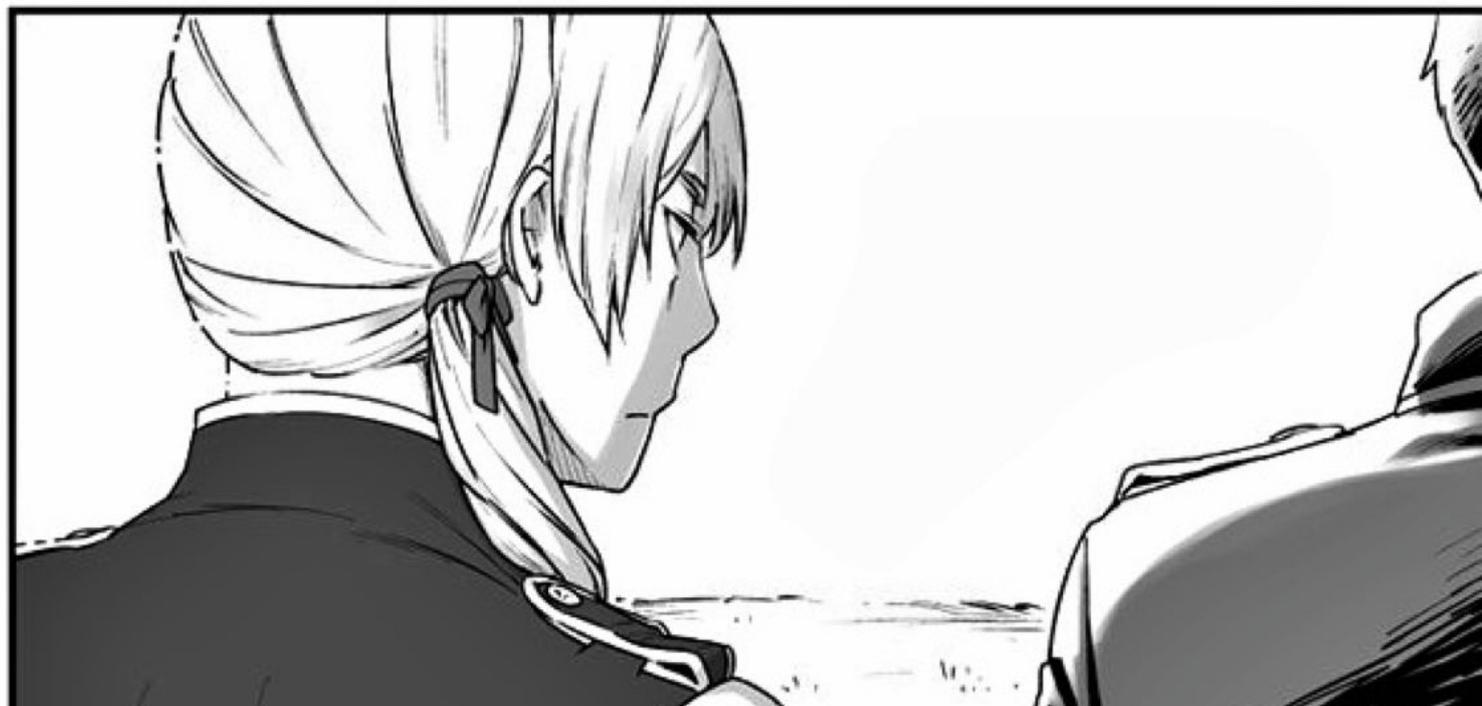
正直羨ましいって  
思うけれど  
兄のように単純には  
成れないし

僕は僕なりの  
やり方でしか  
悪魔と対峙  
出来ない



それは  
間違っでは  
いないし

これからも  
貫き通そうって  
思ったんです





劉さん  
トモダチと  
お別れを  
しましょう



フッ



花束持って  
突然現れたと  
思えば...





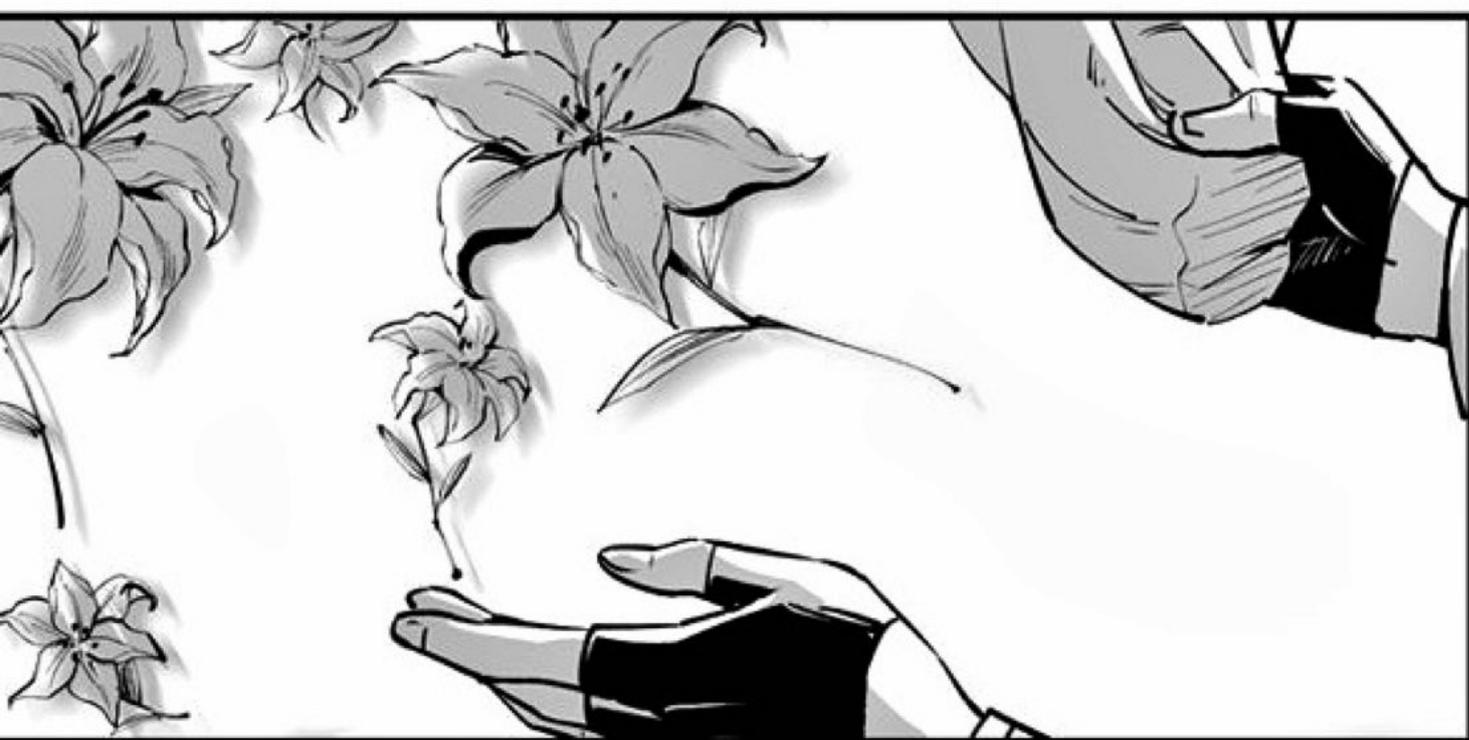
お前の事  
信じる事も

助ける事も  
出来なくて



すまなかった

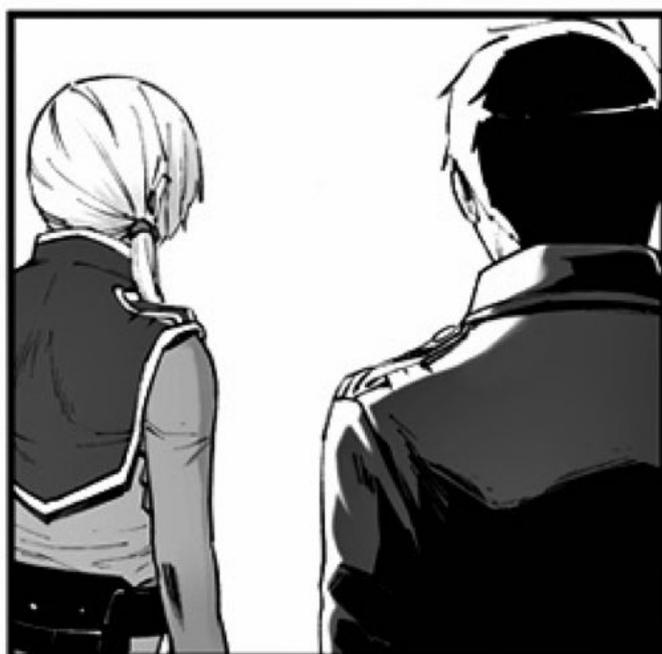








お別れだ...





なっ



どうした？  
人肌恋しい  
ときはいつでも  
相手するぞ



何言ってる  
んですか！  
もう  
行きませんよ！



照れて  
ません！

なんだ  
照れて  
るのか？  
照れる  
必要なんて  
無いぞ

